

Honey & Coral Project



恩納村
Onna Village



OIST

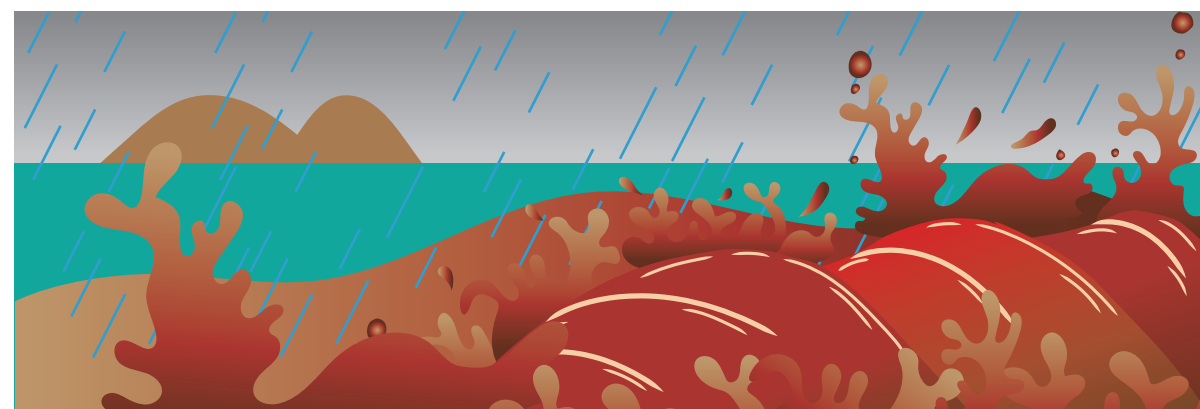
持続的海洋環境保全共同養蜂プロジェクト

この箱は何？

これは養蜂箱です。中にミツバチの巣があります。恩納村役場と沖縄科学技術大学院大学（OIST）がミツバチを使って農地から流出する赤土等からサンゴ礁を守る新たな共同プロジェクト Honey & Coral Project のために設置しています。



赤土が流出して起こる問題って？



雨が降って畑などの赤土が河川に流れ込み、さらに海にまで流れ出ると、サンゴが光合成できにくくなってしまい、そこに住む魚などにも影響が出ます。赤茶く染まった海は、観光や漁業・水産業へも影響を与えることが心配されています。

ハニー アンド コーラル プロジェクト Honey & Coral Project とは？

エスディー・ジーズ

Honey & Coral Project は、SDGs 未来都市「サンゴの村」恩納村らしい地域まちづくりを行うプロジェクトです。村内の農家さんに養蜂を普及し、住民や観光客が恩納村の美しい環境と豊かな生態系を感じられる魅力的な地域環境を育み、採れたハチミツ等を用いて地域経済にも貢献していきます。

恩納村赤土等流出防止対策地域協議会が行う Honey & Coral Project は、ふるさと納税応援基金を利用しています。

Honey は英語で
「ハチミツ」、
Coral は
「サンゴ」という
意味だよ！

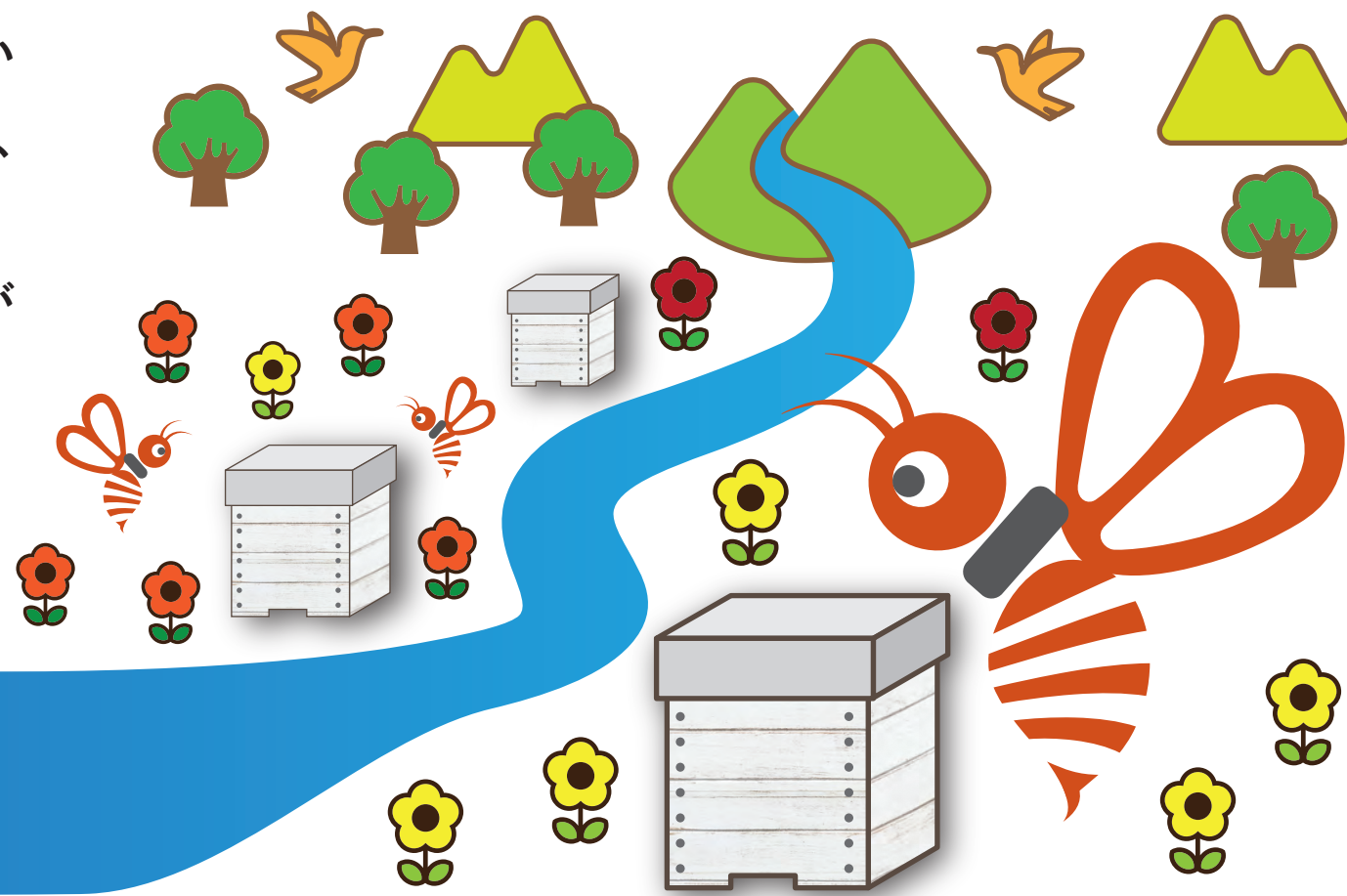
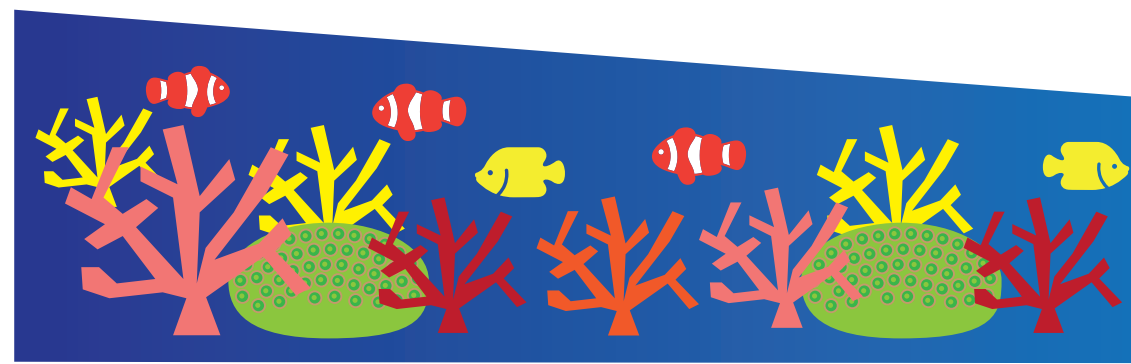


ミツバチを利用したまちづくり

ミツバチは、花と緑、きれいな水が豊かな場所でないと生きていくことが難しいので、「環境指標生物」とも呼ばれています。つまり、ミツバチが元気に活動できる村は、それだけ緑が豊かでクリーンな環境だということ！

また、ミツバチが授粉に一役かった樹木には、実を食べようと、鳥など他の生き物が集まって生物多様性に大きな役割を果たします。

ミツバチを介して、大人も子どもも自然と共生する環境学習ができます。



Honey & Coral Project の実施体制

恩納村赤土等流出防止対策地域協議会

Honey & Coral Project の実施



サンゴの村
SDGs 未来都市



恩納村役場・地域農家・養蜂農家

「サンゴの村」恩納村を、
ミツバチも暮らしやすい、
花いっぱい村にしよう！

沖縄科学技術大学院大学（OIST）

生態・進化学ユニットがミツバチの
ほうぐんほうかいしょうこうぐん
大量死（蜂軍崩壊症候群）の研究や
環境教育を実施